

ジョークサロン(2025年12月)「どこの・ど・どいつ」 佐藤俊一

■お題「師走」

①残り少ない暦をながめ どこのスキ間でアイましょか
師走でもコイといわれりやアイよと応えすぐに飛んでもいくわいな

■お題「暮」

③薄暮どき 海苔に板わさ お鉢子二本 通を気取って そば屋酒
④年の暮れ 夜は馴染みの女将の蕎麦でツユまで啜って温まる
⑤暮れの夜は 馴染みの店の おかめのソバで汁まで啜り温まる
⑥きょうもお出かけ？ 野暮でも今は仕方ないのよ 医者通い
⑦夕焼け小焼けで日が暮れゆくも カラス見えない帰れない
——お寺の鐘も聞こえない～
⑧夕焼け小焼けの「小焼け」は何よ 馴染み深いが わからない
——作詞者が言葉のリズムを調えるために付け加えただけで、意味はないと。
⑦届くお歳暮 めつきり減った 仕事やめたら 当たり前～
——私、もう社会の埒外だもんね。(;^_^A
⑧暮れ泥み 心忙しく速める足も 暮れそで暮れぬ空の色
⑨暮れ泥む 空に急かされ速める足も 暮れそで暮れない存外に
——暮れかかってからも、空の明るさは思いのほか持続する。
⑩くれるのを待っていたのに いくら待っても
くれそでくれない しょぼくれる